



## 自分を越えた眼を Look Beyond Yourself

Raja

ラジェンドラ・K. サブ  
1991~1992年度 R I 会長

### 世界理解月間

1992. 2. 21 (金) 第210回例会

1. 点 鐘
2. ロータリーソング「これでこそローター」
3. 「四つのテスト」唱和
4. 食 事
5. 会長の時間
6. 幹事報告
7. 各委員会報告
8. 卓 話
9. 点 鐘

### 第209回例会記録

(1992. 2. 14)

会長の時間 濱田 松太郎

皆さん今日は、本日は第209回例会です。  
はじめに、本日のビジターをご紹介します。  
宮崎北ロータリー・クラブ会員で、バスト  
ガバナー(1989~1990)の岩下哲夫君  
です。岩下バスト・ガバナーには、佐土原RC  
創立に当たりスポンサークラブとして一方なら  
ぬご指導とご援助を賜り、有難く厚くお礼申  
上げます。また本日は、特に当クラブの会員増  
強についてアドバイスをいただければ幸いと存  
じます。なにとぞよろしくお願い申し上げます。

立春は過ぎましたものの、春は名みの風の  
寒さやー 寒さに負けないで、例会への出席  
をお願いいたします。

ところで、本月の23日は「世界理解と平和  
の日」であります。1905年2月23日、米

国シカゴ市において、青年弁護士ポールP. ハ  
リスが最初に会合を開いた記念すべき日です。  
世界理解と友情と平和への献身を特に認め、  
強調するよう、各クラブに奨励されております。  
87年経た今日、174の国に、クラブ数は  
25,596、会員数は1,131,837人に発展  
してきました。

「ロータリーの友2月号」をお読みにした  
方は、すでにご承知のことと存じますが、RI  
指定記事として、ラジェンドラ K. サブ会  
長の「本当の平和とは？」と題する論説が掲載  
してあります。その中で「鳩は平和のシンボ  
ルとされている。鳩はつかまえてくいと、追  
いかけるとさっと飛び立って空の彼方へ消え  
てしまう。しかし、手のひらにとりもちの種  
子を2~3粒置いて待っていると、鳩のほうか  
ら寄ってくる。平和もこれと似たようなところ  
がある。誠意を込めて平和を育てる種子を差し  
出し、その種子を育てるのを助ければ、平和は  
向うからやってくるはずである。善意と奉仕の  
種子を見れば、平和は私たちの頭上に舞い降  
りてくるはずである。」と説いておられます。

そして、「ラルフ ウォルド エマーソンが  
言っているーあなたに平和をもたらすのは、  
あなた以外にないーの言葉の真実味をしみじ  
み感じている。平和の真の顔を見つけるため  
には、自分の眼を越えて見なければならない。ロ  
ータリアン一人一人が、それぞれのやり方で、  
常に奉仕によって平和を追い求める十字軍の戦  
士となるうではないか。」と呼びかけています。

さらに、「平和はあなたから始ります。隣人に手を差し伸べ、心を開き、人間と人間の間を隔てている壁を取り除こうと努力している、あなたから始めるのです。」と教えられています。

最後に、印度独立の親、マハトマ・ガンジー（1869～1948）の、次のような言葉をサブ会長は紹介しておられます。

「今度英国と欧州に3ヶ月間生活したが、その間に“東は東、西は西”というような孤独感を味わったことはただの1回もなかった。それどころか、どこへ行っても人間性というものは根本的には全く変わらないということ、これまで以上に強く感じた。信頼と愛情をもって人と接するならば、その10倍もの信頼が、そして1000倍もの愛情が返ってくる。こういう点でも西と東は変わらない。」と。

しかし、例えば今日の、特に都会においては、松尾芭蕉の句ではありませんが、「秋深き、隣は何をする人ぞ」というように、世上ややもすれば、隣人のことは全く無関心で、ろくに朝夕の挨拶もしない風潮がありますが、こんなことではいけないと痛感します。

そして、私たち日本人は、お金を出して援助の手を差し伸べ友情を示すことにより、国際理解が深まるものと考えている人が多いようです。

もちろん、大切なことには違いありませんが、相手をどのように理解しているかを話し合うことにより、お互いの長所を自国の国民性の向上に役立たせるようにすれば、一層国際理解は深まるものと思います。

次に、ロータリー財団75秒の第5週についてお話しします。

ロータリー財団が、全ロータリアンの利用する財産としたら、その財産をどのように割り振ればよいでしょうか？

答は、全ロータリー地区が分かち合う（シェア）ということ。各地区の一般寄付（従来の「無条件寄付」）は、シェア・システムによ

り二つの活動資金に分けられます。その60%は地区財団活動資金で、40%は国際財団活動資金です。

地区財団活動資金に充てられる米貨相当分で各地区は、参加したいプログラムを選びます。

例えば、国際親善奨学金は、二つ目の研究グループ交換、同額補助金の提唱者側負担金などの、広範囲にわたる財団プログラムや、新しい分野などです。こういったプログラムを選択できるかは、各地区ガバナーに送付したシェア・プログラムの選択用カタログに載せてあります。

財団の管理委員会は、国際財団活動資金から活動資金を割り振ります。保健・飢餓追放および人間性尊重補助金と同額補助金：各地区の申請できる1件の研究グループ交換補助金、ロータリー・ボランティア・プログラム資金：飢餓救済などの競争性奨学金：試験的プログラム。

各地区はロータリー財団に参加する機会に恵まれ、同時に、世界中のロータリアンの惜しみない寄付の一端を使うことができます。

第6週の75秒スピーチは、「世界を棒とする競争制の奨学金」についてです。

エルサルバドルの飢餓救済奨学生は、米国のユタ州立大学で灌漑技術について学んだことを応用するために帰国しています。そして、大規模な農業協同組合と個人農家の仕事を調整する7人の農学者を監督しています。

モーリシャスの奨学生は、ウェールズで飢餓救済について勉強し、母国の島の海生動物の環境が破壊されるのを食い止めるために帰国しています。

飢餓救済奨学生は、毎年開発途上諸国で選ばれ、食糧生産に関する分野で修士号を取得するために、最高2年間勉強する機会を与えられています。そして、日本プログラム奨学生には、日本での正規の国際親善奨学生の始まる前に、日本語に堪能になるように語学力強化研修期間が用意されております。

社会背景の大幅に異なる人々の相互交流と飢

養成会議議長を任命することになりました。

ガバナー・ノミニーを補佐して、地区協議会のプラン作りや、地区のリーダー養成に当たることとなります。当地区では私が議長に任命されました。まあ、各クラブに活を入れようということですが、よろしくご協力のほどお願いいたします。

さて、本論に入らせていただきますが、佐土原RCが会員増強で伸び悩んでいることは、宮崎市郡RC会長・幹事会でも課題になっています。一方では、清武町に新クラブを設立しようという動きがあるようですが、私は反対です。

佐土原クラブを現状のまま放置しておいて、新クラブをつくるということは容認できません。先ず佐土原クラブをもっと充実させるお手伝いをしようとするからです。

率直に申し上げますと、会員の増強を図ることは、会員の皆さんの責任だと思います。

自分たちのクラブは少人数であるけれども、皆が仲良くやっているし、ロータリーを楽しんでいるし、そして奉仕活動もそれなりにやっている、みんな現状で満足しているのだから、何もわかからずべ言わなければならないのか、というのも一つの考え方だとは思いますが、

もちろん全国には20名未満のクラブもいくつかあります。北海道地区では20名以下というクラブはざらで、中には6~7名というクラブもあります。

しかし地区内の現状を申し上げますと、串木野クラブがかつて6名にまで落ちましたが、その後の会長が、我がクラブは会員が25名になるまでは“親睦と会員増強”だけを目標にやってくる、との方針で頑張り、現在24名の会員に増え、毎年地区大会で表彰を受けています。

霧島RCは地理的条件が悪いのですが、はるばる遠方から例会に出席し、24名ぐらいを堅持しております。

加世田RCだけはやや下降気味で、最近20名を割っているのではないかと察しています。

RIでは、クラブ創立時の構成員を最低25名という線を引きしています。従来は20名であったのが、25名に上げられました。25名未満を弱体クラブと見ており、国際協議会の席上、RIの役員から各ガバナーの個人面接があって、弱体クラブの実態や増強策などについていろいろ質問されます。

たとえ和気藹々とやっておりますけれども、常に新しい血を注入しなければマンネリになり、活動が低調になる、例会に行っても少人数であまり面白くない、クラブの財政も苦しい、ということになります。

この際、会員が25名になるまでは皆さんと力合わせてやっていきたい、皆さんにも是非頑張ってもらいたい、と私は考えております。

以前に、佐土原地区ではライオンズクラブが先に設立されたため、ロータリー・クラブの会員増強に障害となっていると聞いておりました。しかし、現在ライオンズの例会出席者は20名ぐらいたくということ、ライオンズクラブによる影響はさほど考えられないようです。

また、月額1万円の会費負担が重荷になっているとも思われません。

宮崎北RCでは、5人1組で、1人の会員候補者を推薦するよう義務づけられています。

貴クラブでも、3人1組で1名の新会員を推薦するようにされると、6名の増強が可能になるわけです。例会の帰途、チームごとに入会勧誘に廻るとか、金融機関に行って会員適任者の情報を得るとか、いろいろ方法はあると思います。また、現在の佐土原RCのメンバーは、地元の方が多いように思われますので、幼な友達のルートで会員を勧誘することもできるでしょう。皆さんが、何時までには何名増やすと目標を設定されて、せめて年度内に25名の目標を達成されるよう期待しております。(要旨)

岩下バスター・ガバナーには、ご多忙中を佐土原RC会員増強、活性化のためご指導賜り、今さらながら身の引繋る思いがいたします。目標に向かい会員一同団結して頑張ります。(会長より)

賑救済は、「関連する」活動には見えないかも知れませんが、しかしロータリアンは理解しています、世界理解と平和というロータリー財団の目標を達成する道は一つでもないし、方向も一つではない、ということ。

ロータリーは、世界理解と平和という夢を共にする人々の貢献により、多くの面でこの目標にロータリーならではの方法で取り組むことができます。

**幹事報告 鈴木正敏**

1. 例会変更通知
  - ・小林中央RC 2月21日の例会は、2月22日19:00より  
えびの市 真砂旅館にて
2. 次年度本坊ガバナー年度における佐土原RCへの公式訪問日は、7月31日(金)の予定
3. 日南市でのI. M. に出席できない会員は、本日現在次のとおりです。  
田村・柳田・池田英治・正岡・齊藤・佐野・神宮寺君

出席報告	委員長	神宮寺 利夫
会 員 数		18名
欠 席 者 数		3名
H C 出 席 者 数		15名
出 席 率		83.33%
欠 席 者 名		郡司・岩切真・井下

**ビクター**  
宮崎北RC 岩下 哲夫君 (P. G.)

**会計より 藤堂孝一**  
12月結婚記念日受祝者 垂水 敏雄君  
2月結婚記念日受祝者 正岡 文郁君  
2月結婚記念日受祝者 齊藤 数馬君  
以上3名の方から多大のハッピーをいただきましたので、ご報告と共に厚くお礼を申し上げます。

**受祝者のハッピー・ボイス**

知らぬ間に銀婚式まであと2年というところまで来ました。

これも皆様のおかげです。今後とも相和して長生きしたいと思います。

有り難うございました。 正岡 文郁

結婚記念日の祝福をしていただき、ありがとうございました。

今回で20年になり、過ぎてみれば短いように思います。

今後は、ゆとりある生活を送りたいものです。 齊藤 数馬

喜びも悲しみも共に歩いて39年になります。体力の衰えを気力でカバーしながら、また1年二人で前を向いて歩きたいと考えます。

記念品をいただき、心からお礼申し上げます。 垂水 敏雄

**特別卓話(宮崎北RC) 岩下 哲夫君**  
RI第2730地区拡大増強委員長 P. G.

皆さん今日は、折角の機会でありますので、第2730地区の状況についてお知らせしたいと思います。

2月22日に諮問委員会が開催されます。議題は、本坊年度の会長エレクト・セミナー及び地区協議会の議題についてと、来年度の地区の組織・予算についてです。

次に、新設クラブの件ですが、鹿児島県の鹿屋市の近くに高山という仮クラブ(エリアが5ヶ町ぐらいで、メンバー29名)がRIに加入申請をしています。それから奄美大島に、4村ぐらいを一緒にして新クラブを設立中です。

宮崎県では、門川町にクラブ設立を取り組んで3年目になりますが、まだ特別代表任命の段階に入っていないようです。今年ごろは何かなるのではないかと考えています。

RIでは、各RCの活性化を図らなければならないということで、会長はじめ主だった委員長の活動を促進するために、各地区にリーダー